研修報告書 「見て！触って！ドレーン管理に強くなろう」

【目的】
ドレーン管理を安全に行うための方法を習得する。
【目標】
1. ドレーン留置の目的、種類と特徴を述べることができる
2. ドレーン留置中の観察ができる。
3. ドレーントラブルに至らないような予防策を説明することができる。
4. ドレーントラブルが起こった際の対応ができる。

1～3年目看護師対象　2024年12月13日（金）17:30～19:00　多目的研修室
16名が参加しました♪

事前課題では、ドレーン留置の目的、種類、管理のポイントについての動画を視聴し、ワーク用紙に記入しました。

演習支援のご協力ありがとうございました♡

集中治療部
鵜瀬副看護師長

安全管理部
張岳副看護師長

1 講義 事前課題の振り返り

1. ドレーン留置の目的・方法
2. ドレーン留置中の**観察項目**　など

ドレーン挿入部から
排液バッグまで
手で触って、指で辿って
確認しよう！

・刺入部・固定部の観察
・排液の性状や量の変化
・吸引圧の確認
・患者さんの理解度　など

2 講義 医療安全の視点からみたドレーン管理

安心安全

1. ドレーンに関する**インシデント事例**
2. ドレーン管理のポイント

・自己抜去・事故抜去
・陰圧のかけ忘れ
・ドレーンチューブ損傷　など

安全管理部
江副看護師長

当院でのドレーン・チューブ関連の
インシデントは、年間約600件あります。
ドレーンの特徴と管理方法について
しっかり学び、安全に対応できるスキル
を身につけましょう！
テープが剥がれないからといってハサミを
使用してはいけません!!

フラップの屈曲ヨシ！

マルチチャネルドレーン

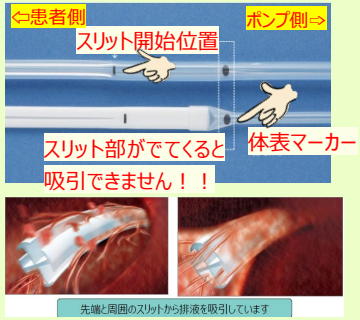
静かに握るように圧縮
して陰圧をかける！

カチっと音が鳴るまで
押して、排液口を閉じる！
そしてしっかり屈曲！

ドレーン圧ヨシ！

3 演習 ①ドレーンの構造を学ぼう

陰圧もしっかり
確認しよう



カーディナルヘルス社資料より

ドレーンの先端にスリットがあ
るって知らなかった。
体表マーカーの次のラインが
でたら吸引ができなくなるって
ことですね！

Ω
オメガ
固定ヨシ！

②ドレーン留置中の患者の観察

講義で学んだことを活かして
チェックリストに沿って演習を行いました

患者さんの
不快感がないか、
動作が制限され
ていないかも
確認だね

ゴーグルもつけて感染予防！

排液方法についても
学びましたヨ

③トラブル対応について

起こりうるトラブルを想定し、
観察と対応を行いました。

陰圧がかかってない！
ドレーンの固定は
大丈夫!!

待って！
陰圧の指示の
変更がないか
確認してみよう！

受講者の声（一部抜粋）

・普段からドレーン挿入中の患者さんを見ているが、今回観察ポイントや対応方法を学び自信がつきました
・ドレーン・患者さんの不快感を少なくできるのは医師だけでなく、看護師もその力になりたいと思った。
・看護師の関わりで予防できることもあると学んだ。

部署のみなさまへ

本研修では、講義・演習を通して、ドレーン留置中の患者の観察や安全にドレーン管理を行う方法を学びました。今までドレーンを触ったことがない受講者もいました。研修での学びを臨床でも活かせるよう観察ポイントやアセスメント、トラブル時の対応などOJTでの指導をよろしくお願いします。

作成者：看護キャリア支援室　中路梨絵・堀田ほづみ